



エース保険
ace insurance

Insuring Progress

Corporate Profile



Insuring Progress

We take on the responsibility of risk
so our clients can take on the responsibility
of making things happen.
We call this insuring progress.

ごあいさつ

日頃よりエース保険をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

2008年9月、米国大手金融機関の経営破たんを発端とする金融ショックが世界経済を巻き込み、異例の規模とスピードで広がりました。株価は低迷し、市場が大きな混乱に見舞われ、多くの企業が経営危機に陥る中、保険・再保険分野で世界有数のグローバル・プレーヤーであるエース・グループの一員として、私たちの誇りと自信は全く揺らいでおりません。なによりも、安定した経営基盤が、この誇りと自信を裏付けてくれています。

エースは、保険業界の中でも最も保守的な投資運用戦略を取っており、バランスシートも安定しています。市場の混乱の源となった債務担保証券(CDO = Collateralized Debt Obligation)やローン担保証券(CLO = Collateralized Loan Obligation)などはほとんど保有しておりません。

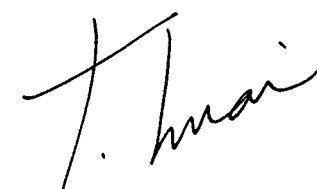
このことから分かるとおり、エースの経営の健全性は、私たちがひとえに、本業である保険事業に全てのエネルギーを集中させてきた結果であると言えます。エースは現在、世界50カ国以上、140以上の拠点で保険事業を展開しています。さまざまな国や地域で得られた貴重な経験とノウハウで、お客様の多彩なリスクマネジメントのニーズに的確かつ迅速にお応えすることが、私たちの使命であると考えております。必要とされる革新的な保障を提供し、さまざまなリスクを引き受けることが私たちの仕事です。

また昨今、保険金のお支払漏れや火災保険のご契約などにおける不適切な取扱いの問題により、保険会社の社会的意義と責任がこれまで以上に厳しく問われております。エースにおきましても、お客様や関係者の皆様に多大なご心配とご迷惑をおかけいたしましたことをお詫び申し上げます。再発の防止だけでなく、万全な支払管理体制の強化や、商品についての適正でわかりやすいご説明に努め、一日も早く皆様の信頼を取り戻すことができるよう、社員一同全力で取り組んでまいります。

エースは今後も、高い「財務力」と「安定性」、そして競争力のある商品を軸とする「サービス力」を基に、お客様の視点に立った経営を推進し、信頼できるパートナーとなることをお約束いたします。

エース損害保険株式会社
代表取締役社長 兼 CEO

今井 隆志





先進のグローバル・プレーヤー、エース・グループ

世界50ヵ国以上を結ぶネットワーク、16,000名のリスクに精通したスペシャリスト、7兆円を超える総資産を擁するエース・グループは、世界有数の規模とノウハウを誇る損害保険のグローバルプレーヤーです。

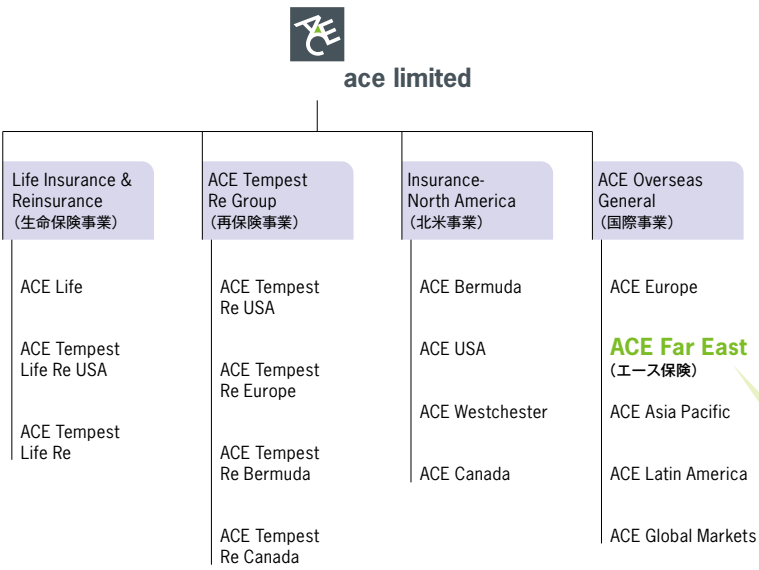
1985年に米国を代表する優良企業34社のキャプティブ（自家保険専門会社）としてスタート。

米国で200年以上の歴史をもつシグナ・コーポレーションの損害保険事業を傘下に収め、現在では、元受保険から再保険までを総合的に扱うリスクマネジメントのプロフェッショナルとして大きな成長を遂げています。

ビジネスからリスクを取り除き、お客様の成功をサポートするために。個人の暮らしのリスクをコントロールし、豊かな人生を支えるために。強固な財務力、高度に洗練された損害保険のノウハウを生かし、エース・グループならではの先進的な発想によるベストソリューションをご提案しています。



〈エース・グループ組織図〉



Outline of ACE Limited

正式社名／エース・リミテッド (ACE Limited)
 本社所在地／スイス、チューリッヒ
 設立／1985年8月29日
 会長兼CEO／エバン・グリーンバーグ (Evan G. Greenberg)
 上場株式市場／ニューヨーク株式市場 (NYSE:ACE)
 総資産額／720億ドル (2007年12月末現在)
 収入保険料 (GWP)／177億ドル (2007年12月期)
 正味収入保険料 (NWP)／119億ドル (2007年12月期)
 保険財務力格付／スタンダード&プアーズ社
 ACE Group A+ (2008年10月現在)

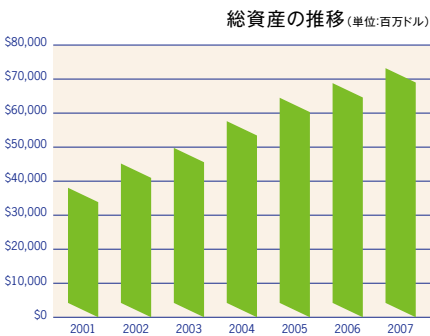
1999年7月、エース・リミテッドによるシグナ・コーポレーションの損害保険事業部門買収により、日本では同年10月、シグナ傷害火災保険株式会社から「エース損害保険株式会社」に社名変更しました。日本での実績は、前身会社を含め外資系損保会社としては最長の85年以上におよびます。

その経験を通じて培った市場への深い理解と、エース・グループの先進的なノウハウを活かし日本に根ざした事業を展開しています。

総資産720億ドル。 優れた成長性と実績を誇るリーディングカンパニーです。

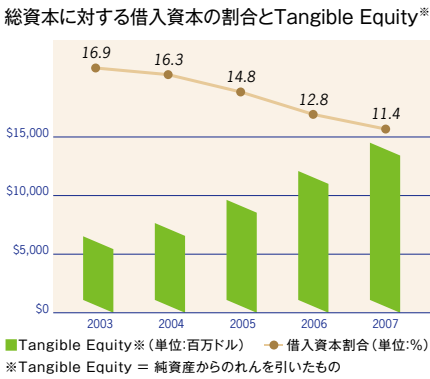
超一流の金融機関や保険会社も本社を置くスイス、チューリッヒを拠点とするエース・リミテッドを中心に、世界50ヵ国以上にその活動の場を広げるエース・グループ。総資産は720億ドル（約7兆9,200億円）*に達し、豊富な資金力と卓越したノウハウを生かして積極的に事業展開。世界的な保険引受シンジケートであるロイズマーケットにも企業シンジケートとして参画しています。

*1ドル=110円で換算



確かな資本基盤と安定したキャッシュフロー。 経営の健全性は「安心」の証です。

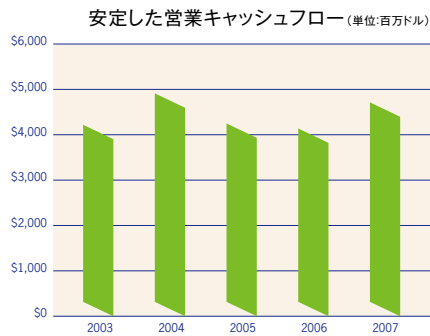
1999年より、エース・グループの総資本に対する借入資本の割合は減少し続けています。キャッシュフローも安定しており、昨今の金融危機において、エースが受けた影響は軽微なものにとどまっています。また、エースは保険業界の中でも最も保守的な投資運用戦略を取っており、債務担保証券 (CDO= Collateralized Debt Obligation) やローン担保証券 (CLO=Collateralized Loan Obligation) などほとんど保有しておらず、流動性や、保険金支払に対する引当金を含むバランスシートも安定しています。



格付けランク「A+」。 強い保険財務力が高く評価されています。

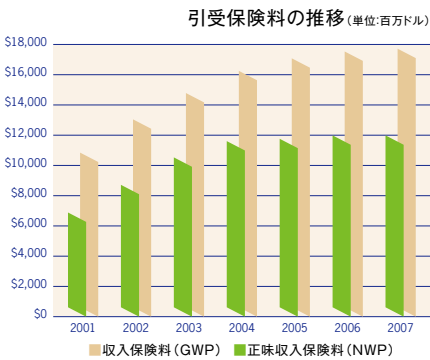
米国格付け機関スタンダード&プアーズ社より、「A+ (ストロング:強い保険財務力)」*の格付けを取得するなど、エース・グループの経営の健全性と強い財務基盤が高い評価を受けています。また、ニューヨーク株式市場に上場し、その銘柄はウォールストリートにある多くの大手証券会社で取り扱われています。

*2008年10月現在



元受から再保険まで。 卓越した構成員で、最善のリスクマネジメントをめざします。

大規模な事故や広域災害における損害保険会社のリスクを分散させ、経営の安定化を支援するのが、再保険の大きな役割です。エース・グループはこの再保険事業を得意とし、グループで蓄積した幅広い経験と知識をベースに、お客様の再保険ニーズに細やかに対応しています。元受保険分野においても、時代の先を見つめた多彩な商品を世界中のお客様にご提供しています。



エース保険は、斬新な発想と
エース・グループのグローバルなネットワークをもとに、
「選ばれる保険会社」を目指し、
お客様のニーズと満足を重視した
世界水準の商品とサービスを提供しています。

Speed,
Flexibility,
Agility.



Solution & Service

進化するサービスと安心、 エース保険

日本において多様化するリスクに鋭敏に対応するために求められるのは、世界を視野に入れた高度でフレキシブルなソリューションとサービス。エース・グループのグローバルなノウハウ、85年以上にわたる日本での保険業務を通じて培った経験を生かし、エース保険はつねに時代の先を捉える独創的な視点で、お客様のリスクマネジメントのニーズにお応えしています。

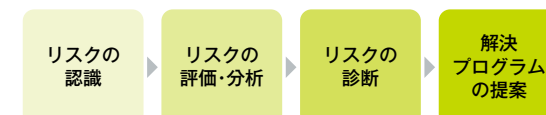
災害や経営リスクを含めた、あらゆるビジネスシーンにおける企業のリスクを戦略的に管理するテラーメイドのサービスから、パーソナルライフの安心をサポートする個人向けの先進的なサービスまで。リスクに最適な保険商品を開発し、高い専門性とスピードによって最高の「安心」をご提供することが、エース保険の使命であり、信頼できるパートナーとしての誇りなのです。

法人のお客様

企業固有のリスクを分析し、
ベストソリューションを
ご提供します。

グローバルな経験とノウハウ、独創性をベースにした先進の商品とサービスが、エース保険の大きな魅力です。財物に関する保険から、賠償責任に関する保険、費用・利益の損失に関する保険、貨物の保険、工事に関する保険、建設業やマスコミなど業種に応じた保険まで、企業のあらゆるリスクとニーズに精通したエース・グループならではのソリューションプログラムにより、的確なリスクマネジメントをご提案します。

●ソリューションプログラム



主な保険商品

団体総合補償制度費用保険 / 団体長期所得障害所得補償保険
自動車保険 / 火災保険 / 貨物海上保険 / 運送保険
建設工事保険 / 動産総合保険 / 賠償責任保険

個人のお客様

幅広いジャンルをカバーし、
豊かな暮らしをサポートします。

ご家族のあらゆるライフシーンに「安心」をお届けし、豊かな人生を守るために。エース保険では、からだの保険、住まいと生活の保険、くるまの保険、レジャーの保険など、多様なニーズを満たす充実したラインナップで、お客様の暮らしを取り巻くリスクを幅広くカバーします。



主な保険商品

傷害保険 / 海外旅行保険 / 国内旅行保険 / 家庭用自動車保険
自動車損害賠償責任保険 / がん保険 / 火災保険
動産総合保険（家財一式担保） / 個人賠償責任保険

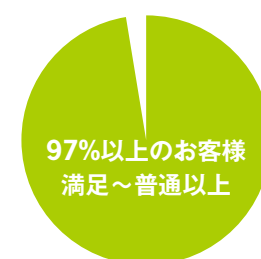
カスタマーサービス

お客様を力強く
バックアップするために、
安心のクオリティを追求します。

■損害サービスセンター24時間

365日24時間のフリーダイヤルによる事故受付体制により、お客様をお待たせしないスムーズなサポートをご提供します。

エース保険の事故対応サービスは、お客様より高い評価をいただいています。97%以上のお客様から「満足～普通以上*」という評価をいただきました。



*2007年度弊社顧客満足度調査結果

■ロードサービス（ご契約によってご利用頂けるサービスが異なります）

無料リペアサービス / レッカー無料サービス / ガス欠サポートサービス
遠隔地トラブルサポートサービス / ロードアシスタントサービス

■SOSホットライン（フリーダイヤル）（主要な傷害保険および自動車保険ご契約者対象）

緊急医療・健康・介護相談サービス / 患者搬送手配サービス

■24時間海外日本語サービス（海外旅行保険ご契約者対象）

キャッシュレス医療サービス / 緊急移送手配サービス / トラブル時の相談受付

安心と信頼をお約束する、
世界が認めるクオリティ。
エース保険のすべてに深く息づいています。

Quality & Network

世界が認めるクオリティ、 全国に広がるネットワーク

お客様のニーズと満足を最も重視した、信頼性の高いサービスを追求していくこと。
エース保険はその一環として、日本の生損保業界で初めて、損害サービス部門において、ISO9001認証を2000年に取得。グローバルスタンダードの品質に裏付けられた「安心」をお届けしています。

さらに経営の健全性においても、エース・グループの豊富な資金力と相まって、確かな財務基盤、優れた支払い能力が世界的に評価されています。



ISO9001認証取得。 損害サービスの質の高さが、 国際的に評価されました。

2000年6月、本店および全支店の損害調査・保険金支払い業務全般について、日本の生損保業界で初めてISO9001認証を取得。ISO9001は世界147カ国で活用されている品質管理・品質保証の国際規格であり、エース保険の損害サービスにおける質の高さ、透明性、公平性が、世界的なレベルで認められました。

格付けランク「A-」。 安定した財務基盤をベースに、 お客様の信頼にお応えします。

米国格付け機関スタンダード&プアーズ社より、日本法人として、保険財務力格付けおよび発行格付けともに信用性の高い「A-」を獲得*。優れた財務基盤に裏打ちされた世界品質の安心をご提供します。

*2008年3月現在

ソルベンシー・マージン比率 878.5%。 高い支払い能力のあかしです。

あらゆるリスクや環境変化への安定した対応をめざし、保険金の支払い能力の強化を積極的に推進しています。ソルベンシー・マージン比率は、「保険金等の支払い能力の充実の状況が適当である」とされる200%を大きく上回る878.5%*。巨大災害の発生や資産の大幅な価格下落など、通常の予測を超える危機が発生した場合にも、お客様に確かな安心をお約束します。

*2008年3月現在

国内3,000店以上の プロフェッショナルな代理店が、 あらゆる地域でご相談を承ります。

エース保険のネットワークで結ばれている代理店は、日本国内に3,000店以上。いずれも専門性に富んだプロフェッショナル集団であり、お客様のニーズにマッチした保険商品やサービスのご紹介、的確なアドバイスで問題解決をめざします。気軽にご相談いただける身近なリスクマネージャーです。



認証取得範囲：損害サービス部門

ISO9001とはISO（国際標準化機構）によって1987年に制定された品質に関するグローバルスタンダード規格です。企業が確立した品質保証体制（損害調査業務）が国際標準を満たしている仕組みであるかを直接利害関係のない第三者（審査登録機関）が審査し、判定をします。全世界では、147カ国でこの規格が活用されています。



最新の格付け情報についてはスタンダード&プアーズのウェブサイト、www.standardandpoors.co.jpまたはスタンダード&プアーズ社（電話：03-4550-8000）までお問い合わせください。（2008年3月現在）



Exceed,
Inspire,
Challenge.

History

米 国 最 初 の 株 式 組 織 の 保 険 会 社 「Insurance of North America (INA)」フィラデルフィアに誕生。 最初の保険証券はロンドンに向かう「アメリカ号」の海上保険。	1792	
INA、米国で最初にビル建物に対しての保険を引受け。	1794	
INA、米国で初めて保険代理店を設置。米国の保険代理店制度の基礎となる。	1807	
INA、中国でアメリカの会社として最初に保険を引受け。	1897	
前身会社AFIAが横浜で営業開始。日本で最初の外資系損保会社となる。	1920	
INAインターナショナル部門を設立。	1946	
INAコーポレーション（持株会社）設立。	1967	
INAコーポレーションと米国最大手生保会社コネチカット・グループが合併。世界最大級の金融コングロマリット、シグナ・コーポレーション誕生。	1982	
	1985	エース・リミテッド、英国領バミューダにおいてDu Pont、GE、IBM、Shell Oilなど米国優良大手企業34社の自家保険専門会社として誕生。
日本においてINAおよびAFIAグループ会社を統合。 「シグナ保険会社」として本格営業開始。	1986	
	1987	エース・リミテッド、D&O保険のスペシャリストである、Corporate Officers & Directors Assurance Ltd. (CODA) の経営を引受ける。
	1993	エース・リミテッド、ニューヨーク証券取引所に上場。(NYSE:ACL)
日本法人「シグナ傷害火災保険株式会社」設立。	1996	エース・リミテッド、バミューダの一流再保険会社であるTempest Re.を取得。 エース・リミテッド、ロンドン、ロイズのエージェンシーであるMethuen UnderwritingおよびOckham World Wideを取得。
	1998	エース・リミテッド、米 国 の Westchester Fire Insurance Companyを取得し、エースUSA設立。 エース・リミテッド、ロンドン、ロイズのエージェンシーであるTarquin Limitedを取得。エース・リミテッド、ロイズの引受け約9.3%のシェアを持つ。
	1999	エース・リミテッド、シグナ・コーポレーションの全世界の損害保険事業部門を取得。 日本法人もエース・グループの傘下に入り「エース損害保険株式会社」に社名変更、東京都千代田区から目黒区へ本社移転。 エース・リミテッド、金融補償商品などの再保険に特化したCapital Re Corporation（現在のエース・ファイナンシャル・サービス）を取得。
	2000	エース保険、損害調査子会社「エース損害サービス株式会社」設立。 エース保険、日本の保険業界で最初にISO9001取得。 （認証範囲：損害サービス部門）
	2001	エース保険、日本法人としてS&P社より保険財務力A-の格付け取得。 エース・リミテッド、ニューヨーク証券取引所のシンボルをACLからACEに変更。
	2008	エース保険、少額短期保険会社「エース賃貸少額短期保険株式会社」子会社化。 エース・リミテッド、本店登記地をスイス、チューリッヒへ移転。



エース損害保険株式会社
ace insurance

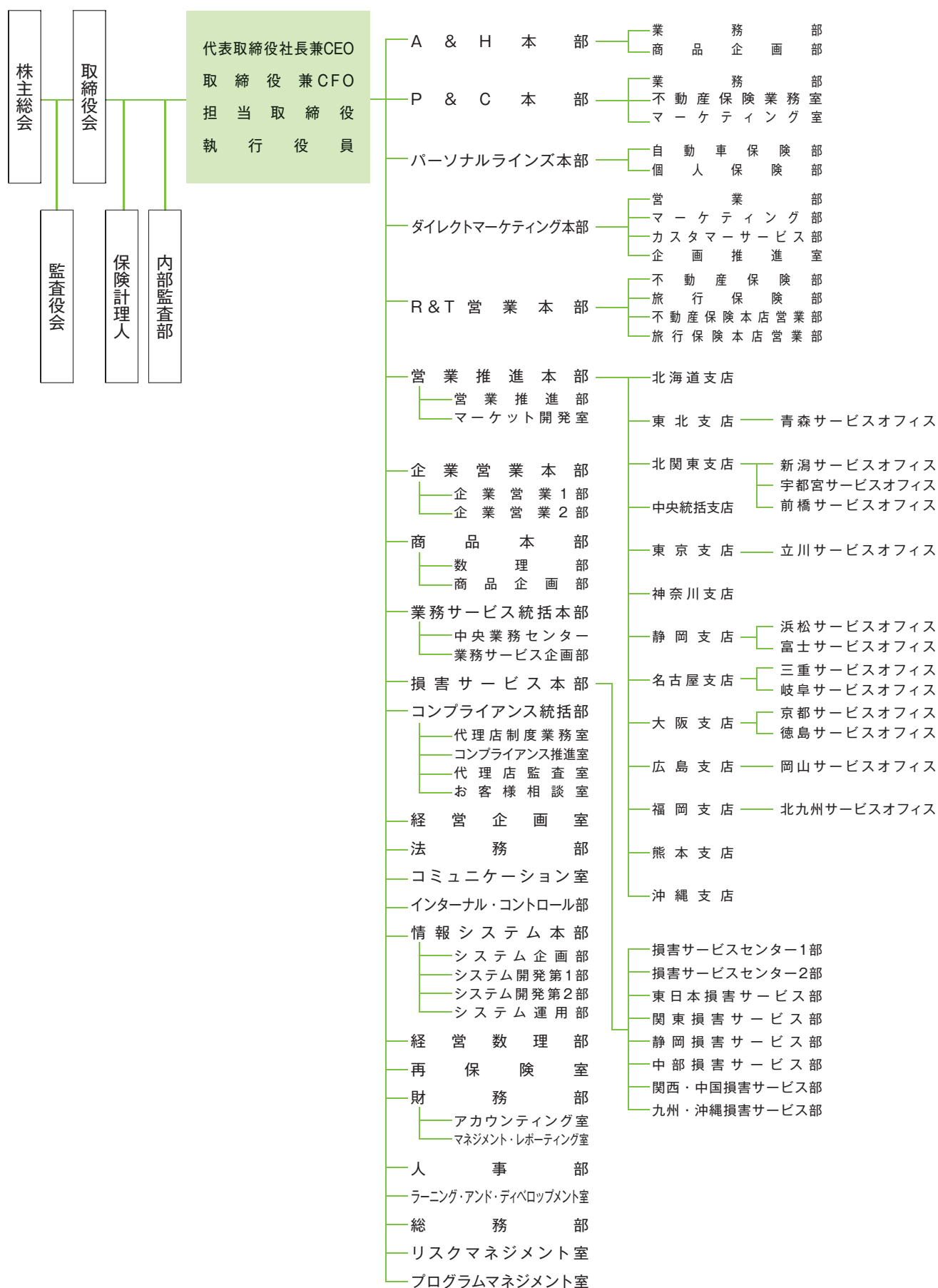
本社
〒153-0064 東京都目黒区下目黒1-8-1 アルコタワー
phone 03-5740-0600(代)
<http://www.ace-insurance.co.jp>



正式社名	エース損害保険株式会社 ACE Insurance (略称:エース保険)																															
本社所在地	東京都目黒区下目黒1-8-1アルコタワー																															
設立	1996年 (日本法人化)																															
役員構成	<table><tr><td>代表取締役社長 兼 CEO</td><td>今井 隆志</td></tr><tr><td>取締役 兼 CFO</td><td>野本 慎治</td></tr><tr><td>取締役</td><td>松山 文之</td></tr><tr><td>取締役</td><td>得平 幸政</td></tr><tr><td>取締役</td><td>ニール・シー・スミス</td></tr><tr><td>取締役</td><td>スティーブ・ピー・ディクソン</td></tr><tr><td>取締役</td><td>バリー・エム・ジョンソン</td></tr><tr><td>執行役員</td><td>大谷 和久</td></tr><tr><td>執行役員</td><td>岡野屋 清</td></tr><tr><td>執行役員</td><td>島田 清貴</td></tr><tr><td>執行役員</td><td>分銅 英雅</td></tr><tr><td>執行役員</td><td>山口 武志</td></tr><tr><td>常勤監査役</td><td>北原 祺夫</td></tr><tr><td>監査役</td><td>日高 章</td></tr><tr><td>監査役</td><td>佐藤 孝幸</td></tr></table>		代表取締役社長 兼 CEO	今井 隆志	取締役 兼 CFO	野本 慎治	取締役	松山 文之	取締役	得平 幸政	取締役	ニール・シー・スミス	取締役	スティーブ・ピー・ディクソン	取締役	バリー・エム・ジョンソン	執行役員	大谷 和久	執行役員	岡野屋 清	執行役員	島田 清貴	執行役員	分銅 英雅	執行役員	山口 武志	常勤監査役	北原 祺夫	監査役	日高 章	監査役	佐藤 孝幸
代表取締役社長 兼 CEO	今井 隆志																															
取締役 兼 CFO	野本 慎治																															
取締役	松山 文之																															
取締役	得平 幸政																															
取締役	ニール・シー・スミス																															
取締役	スティーブ・ピー・ディクソン																															
取締役	バリー・エム・ジョンソン																															
執行役員	大谷 和久																															
執行役員	岡野屋 清																															
執行役員	島田 清貴																															
執行役員	分銅 英雅																															
執行役員	山口 武志																															
常勤監査役	北原 祺夫																															
監査役	日高 章																															
監査役	佐藤 孝幸																															
資本金	74億円 (2008年3月末現在)																															
総資産額	502億円 (2008年3月末現在)																															
元受正味保険料(除く収入積立保険料)	564億円 (2008年3月期)																															
正味収入保険料	199億円 (2008年3月期)																															
ソルベンシーマージン比率	878.5 % (2008年3月期現在)																															
保険財務力格付	スタンダード&プアーズ社A- (2008年3月現在)																															
オフィシャルウェブサイト	http://www.ace-insurance.co.jp																															
エース保険グループ会社	エース賃貸少額短期保険株式会社																															



Organization Chart





エース保険 店舗リスト

● 本社	〒153-0064	東京都目黒区下目黒1丁目8番1号(アルコタワー)	(03)5740-0600(代)
● 大手町オフィス	〒100-0004	東京都千代田区大手町1丁目6番1号(大手町ビルディング)	各部・支店直通
● 清澄オフィス	〒135-0033	東京都江東区深川1丁目11番12号(住友生命清澄パークビル)	各部・支店直通
● 北海道支店	〒060-0001	札幌市中央区北一条西2丁目1番地(札幌時計台ビル)	(011)261-1501(代) Fax(011)241-0368
● 東北支店	〒980-0803	仙台市青葉区国分町1丁目7番18号(白蜂広瀬通りビル)	(022)262-7791(代) Fax(022)265-0527
青森サービスオフィス	〒033-0001	三沢市中央町4丁目3番4号(明治安田生命三沢ビル)	(0176)53-4413(代) Fax(0176)57-0408
● 北関東支店	〒330-0802	さいたま市大宮区宮町1丁目114番1号(ORE大宮ビル)	(048)644-1233(代) Fax(048)647-2375
新潟サービスオフィス	〒950-0087	新潟市中央区東大通2丁目4番1号(新潟バナソニックビル)	(025)245-7291(代) Fax(025)244-8789
宇都宮サービスオフィス	〒320-0811	宇都宮市大通り2丁目1番5号(明治安田生命宇都宮大通りビル)	(028)635-6699(代) Fax(028)633-5536
前橋サービスオフィス	〒371-0022	前橋市千代田町3丁目5番13号(前橋セントラルビル)	(027)235-7071(代) Fax(027)235-7075
● 旅行保険本店営業部	〒100-0004	東京都千代田区大手町1丁目6番1号(大手町ビルディング)	(03)6212-7530(代) Fax(03)3211-1105
● 不動産保険本店営業部	〒100-0004	東京都千代田区大手町1丁目6番1号(大手町ビルディング)	(03)6212-7440(代) Fax(03)3211-1103
● 東京支店	〒100-0004	東京都千代田区大手町1丁目6番1号(大手町ビルディング)	(03)6212-7410(代) Fax(03)3211-1101
立川サービスオフィス	〒190-0012	東京都立川市曙町2丁目13番3号(立川三菱ビル)	(042)525-6111(代) Fax(042)525-7613
● 中央統括支店	〒100-0004	東京都千代田区大手町1丁目6番1号(大手町ビルディング)	(03)6212-7570(代) Fax(03)3211-1116
● 神奈川支店	〒231-0062	横浜市中区桜木町1丁目1番地8号(日石横浜ビル)	(045)683-3600(代) Fax(045)683-3636
● 静岡支店	〒420-0853	静岡市葵区追手町1番6号(日本生命静岡ビル)	(054)254-0331(代) Fax(054)254-7915
浜松サービスオフィス	〒430-0946	浜松市中区元城町218番地26号(聖隷ビル)	(053)454-4401(代) Fax(053)455-1655
富士サービスオフィス	〒417-0055	富士市永田町1丁目124番地の2(明治安田生命富士ビル)	(0545)54-2611(代) Fax(0545)53-5830
● 名古屋支店	〒460-0008	名古屋市中区栄4丁目15番32号(日建住生ビル)	(052)261-2221(代) Fax(052)261-3510
岐阜サービスオフィス	〒500-8833	岐阜市神田町1丁目8番5号(協和興業ビル)	(058)264-6271(代) Fax(058)263-7267
三重サービスオフィス	〒510-0067	四日市市浜田町6番11号(第一加藤ビル)	(059)352-2164(代) Fax(059)354-1364
● 大阪支店	〒530-0001	大阪市北区梅田2丁目5番25号(ハービス大阪)	(06)6343-7591(代) Fax(06)6343-7588
京都サービスオフィス	〒604-8101	京都市中京区柳馬場通り御地下柳八幡町65番地(京都朝日ビル)	(075)211-5501(代) Fax(075)251-0798
徳島サービスオフィス	〒770-0841	徳島市八百屋町1丁目14番地(三井生命徳島ビル)	(088)626-3511(代) Fax(088)655-1876
● 広島支店	〒730-0017	広島市中区鉄砲町7番18号(東芝フコク生命ビル)	(082)221-9311(代) Fax(082)223-8441
岡山サービスオフィス	〒700-0907	岡山市下石井1丁目1番3号(日本生命岡山第2ビル新館)	(086)224-6285(代) Fax(086)231-9625
● 福岡支店	〒810-0001	福岡市中央区天神4丁目2番20号(天神幸ビル)	(092)751-5061(代) Fax(092)771-5504
● 熊本支店	〒860-0804	熊本市辛島町5番1号(日本生命熊本ビル)	(096)354-8221(代) Fax(096)359-4559
● 沖縄支店	〒901-2223	沖縄県宜野湾市大山6丁目4番2号	(098)897-5136(代) Fax(098)897-6504
● 企業営業1部	〒153-0064	東京都目黒区下目黒1丁目8番1号(アルコタワー)	(03)5740-0693(代) Fax(03)5740-0611
● 企業営業2部	〒153-0064	東京都目黒区下目黒1丁目8番1号(アルコタワー)	(03)5740-0604(代) Fax(03)5740-0611

損害サービス専門オフィス

● 損害サービスセンター	〒135-0033	東京都江東区深川1丁目11番12号(住友生命清澄パークビル)	(03)5621-1033(代) Fax(03)5621-1034
● 東日本損害サービス部	〒060-0001	札幌市中央区北一条西2丁目1番地(札幌時計台ビル)	(011)261-8023(代) Fax(011)261-1512
● 関東損害サービス部	〒100-0004	東京都千代田区大手町1丁目6番1号(大手町ビルディング)	(03)6212-7902(代) Fax(03)3211-1107
● 静岡損害サービス部	〒420-0853	静岡市葵区追手町1番6号(日本生命静岡ビル)	(054)254-0334(代) Fax(054)254-0377
● 中部損害サービス部	〒460-0008	名古屋市中区栄4丁目15番32号(日建住生ビル)	(052)261-8161(代) Fax(052)701-3175
● 関西・中国損害サービス部	〒530-0001	大阪市北区梅田2丁目5番25号(ハービス大阪)	(06)6343-7585(代) Fax(06)6343-7583
● 九州・沖縄損害サービス部	〒810-0001	福岡市中央区天神4丁目2番20号(天神幸ビル)	(092)751-5067(代) Fax(092)751-3994
● 北九州サービスオフィス	〒802-0001	北九州市小倉北区浅野2-14-1(KMMビル)	(093)511-5012(代) Fax(093)511-6509

エース保険 損害サービスセンター 事故の際のご連絡先

自動車・火災新種その他事故専用	0120-011-313
海外旅行保険事故専用	0120-071-313
傷害保険事故専用	0120-091-313
がん保険事故専用	0120-289-822
医療保険専用	0120-289-822

エース保険グループ会社

● エース賃貸少額短期保険株式会社	〒150-0011	東京都渋谷区東1-26-20(東京建物東渋谷ビル)	(03)6834-2900(代) Fax(03)5467-4400
-------------------	-----------	---------------------------	-----------------------------------